

教育民生常任委員会に付託を受けた議案および予算常任委員会教育民生分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆委員長／伊藤厚子
- ◆副委員長／山添和良
- ◆委員／西川英伸、山崎智之、荒川一義  
桂 撤男

高齢者いきいき入浴補助券で入浴できる和倉温泉「総湯」

## 主な審議内容

### 【議案第1号】

#### 平成30年度七尾市一般会計予算

##### ◆生活困窮者自立支援事業費について

- Ⓞ生活困窮者自立支援事業費が昨年比400万円弱の減額であるが、その要因は何なのか。対象者を何人と見込んでの減額となっているのか。
- Ⓞ事業として、学習教室として行うものと家庭訪問とがあり、今まで家庭訪問の実績がないため、来年度は縮小した。時間的には家庭訪問の100時間を減らした。今年は教室形式で20名ほど支援をした。また、サポートセンターななおの委託料に関して、国庫支出金が入っており、国庫補助基準額が人口規模を基準にして交付されるため、一ランク下がることに伴い、委託料について330万円ほど減額となっている。相談員も今年は2.5人分をお願いしていたが、相談件数が減っているため来年度は2人分をお願いする。

### 【議案第1号】

#### 平成30年度七尾市一般会計予算

##### ◆教職員多忙化改善推進事業費について

- Ⓞ他の市町では、すでに独自の部活動の指導方針を示しているところがあるが、七尾市も早急に独自の方針を示すべきだと思うが、どのように考えているのか。
- Ⓞ県の教育委員会が示した方針に従いながら、七尾市独自の方針を示していきたい。3月末に行われる定例教育委員会である程度の方針が決まる予定である。
- Ⓞ2名分の部活動指導員の予算もついているので、その辺の方針を早くしなければならぬ。これは教職員の多忙化の問題ではあるが、子どもたちを中心に考えてもらいたい。週休2日での部活動であれば、休みの日に地域のスポーツクラブで練習を行うとか、教職員が休みのときには部活動指導員に指導してもらおうとか、子どもたちがスポーツを続けられるような体制づくりの考えはないのか。
- Ⓞ県の教育委員会から方針が示されたばかりで、方針が出る前に先行して行っている県内の教育委員会では、再度すり合わせを行って調整を図っている状況。七尾市教育委員会においては、今年度は2名の指導員を配置し、どういった形が教職員の働き方改革に寄与できるのか調査をしながら、来年度以降しっかりと対応していく。

### 【議案第1号】

#### 平成30年度七尾市一般会計予算

##### ◆高齢者いきいき入浴補助事業費について

- Ⓞこの事業を行うのはとてもいいことだが、70歳以上が対象という根拠は何か。また、200円×12枚綴りの根拠も何か。
- Ⓞ県内で同様の事業を行っているところもあり、参考にしながら定めた。65歳以上が高齢者であるといった線引きがあるかもしれないが、実際は65歳の方々はまだまだ元気な方が多いということもあり、70歳以上とした。200円の入浴券については、一般的に公衆浴場の料金が440円であり、概ね約半分として200円にした。
- Ⓞこの入浴券を悪用することも考えられるが、チェック体制はどうか。
- Ⓞチェックには限界があると感じているが、施設側と打ち合わせしながら、不正防止を図っていき、不正がないようなものにしていきたい。

### 【議案第54号】

#### 平成29年度七尾市一般会計補正予算(第10号)

##### ◆保育士確保対策事業費について

- Ⓞ保育士確保対策事業費の減額について、30名の予定が7名だったということで、事業費が有効に機能しなかったことの原因はどのように考えているのか。
- Ⓞ30名の予定ではあるが、平成30年3月卒業見込みで15名、平成31年3月卒業見込みの15名に公募となっており、そのうち平成31年3月卒業見込みの15名に対し7名の応募となっており、効果は上がっているものとする。
- Ⓞ効果が上がっている具体的な根拠は何か。
- Ⓞ市内の高校に出向き、保育士養成の学校に進学している生徒に対して、学校の方から制度のお知らせをしている。15名に対して7名で予算的には少ないが、一定の効果はあったと考えている。
- Ⓞこの制度を利用した保育士は、市内の保育園に勤める義務は課せられるのか。
- Ⓞ保育士の資格と取得して、七尾市内の私立保育園に勤務して、5年間継続して勤務すれば貸付金は免除するというになっている。